

あなたの周りに高島市に移住・定住を考えておられる方はいませんか？

高島市への移住・定住を促進しましょう！

☎ 市民協働課 ☎ (25) 8526

市では、人口減少や少子高齢化の進行を防ぐため、若者の移住や定住の促進に取り組んでいます。その取り組みの一例をご紹介します。

定 住相談窓口

移住や定住に関する専門の相談員である移住・定住コンシェルジュが住まいや仕事の相談をはじめ、暮らしの相談など移住に関する各種相談を受け付けています。



移 住専用ホームページ

「高島で暮らそう。」

相談窓口だけでなく、ホームページからも高島市の魅力を発信しています。

ホームページでは、空き家物件やイベントなど移住に関するさまざまな情報を掲載しています。

また、Facebook も開設していますので、ぜひご覧ください。

右の二次元コードからご覧いただけます。



空 き家紹介システムの運用

移住に欠かせない住まいについて、移住者向けに市内の空き家を紹介しています。移住者が活用できそうな空き家や近々、空き家になるかもしれない物件などをお持ちの方は、ご相談ください。



移 住検討者向け小冊子

「高島で暮らそう。」
Handbook

定住相談窓口や市内の公共施設、観光施設などでは、移住を検討している方向けの小冊子を配布しています。

また、大阪や東京などの移住の相談会でも配布し、PRしています。

この小冊子は移住専用ホームページからもご覧いただけます。

この表紙が目印！



お知り合いの方で、Uターンを検討されているご家族の方や、移住を検討されている方などがおられましたら、「高島で暮らそう。」ホームページや、小冊子をご活用いただき、定住相談窓口をご利用ください。

	高島市清水安三育英資金	高島市高島屋奨学金育英資金	高島市育英資金
設立背景	桜美林学園の創始者である清水安三氏が、優れた人材と向上心に燃える後進育成のために、故郷の旧新旭町に寄付された資金をもとに設立。	株式会社高島屋の始祖飯田家発祥の地である旧今津町に、創業150周年記念事業のひとつとして寄付された奨学資金をもとに設立。	教育の経済的負担を補い、人材の育成を図るために寄付によって設立。
対象者	大学、修学年限2年以上の専修学校に入学しようとする方	高校、高等専門学校、大学、専修学校に入学しようとする方	高校、高等専門学校、大学、修学年限2年以上の専修学校に入学しようとする方
貸付額	【大学・専修学校(専門)】 原則として月額3万円 ※特別の事情と認められる方は月額5万円	【高校・高等専門学校】 月額2万円を限度 【大学・専修学校(専門)】 月額4万円を限度	【高校・高等専門学校】 月額2万円を限度 【大学・専修学校(専門)】 月額3万円を限度
返還・受付期間	【返還期間】 貸付期間終了後7年以内(1年の据置期間を含む) 【受付期間】 6月22日(月)~7月2日(木)	【返還期間】 貸付期間終了後15年以内(6か月の据置期間を含む) 【受付期間】 11月頃募集予定	【返還期間】 貸付期間終了後7年以内(1年の据置期間を含む) 【受付期間】 令和3年1月頃募集予定

市では、経済的な理由で大学や専門学校等で学ぶことが困難な方に、3種類の奨学金をご用意しています。



高島市の奨学金をご紹介します

教育委員会広報 ☎ 教育総務課 ☎ (25) 8558

防災情報などをメール配信しています！

リアルタイム高島

▼登録方法
①[real.takashima@sg-m.jp]に空メールを送信するか、二次元コードを携帯電話で読み取っていただき、空メールを送信してください。
②その後、送られてくるメールから、登録用の画面に進み、受信したいメールのカテゴリにチェックを入れて、登録ボタンを押してください。
※配信は[real@city.takashima.shiga.jp]のアドレスから送られます。

▼配信中のメニュー
防災情報、火災情報、不審者情報、献血情報、熊目撃情報、畑の棚田情報、文化ホールイベント情報、健康管理情報、乳幼児健診情報、行方不明者情報、犯罪被害・交通事故警戒情報、食育情報、JR運行情報

高島市公式 Facebook と Instagram で

市の魅力やお知らせ情報を好評配信中！

- Facebook
『あっと高島【高島市役所】』
市の魅力や市のお知らせ情報を配信します。
- Instagram
『takashima_city【#たかP写真館】』
市の魅力を絶景写真で紹介しています。

それぞれ、**高島市** で検索して登録をお願いします。

高島市公式 Instagram イメージキャラクター「たかP」

☎ 企画広報課 ☎ (25) 8130